

## 教員の総合業績(基礎資料)調査 氏名 ( 高橋修 )

### 1 研究業績

1) 著書・論文・学会発表・作品など (平成 12-18 年度に限る)

例: (欧文の場合は、原文 **alphabet** で記入してください)

# 全著者あるいは作者名 (自己にアンダーライン、単著の場合はアンダーライン不要)

& 著書、学術論文又は作品の名称

\$ 発行所 (総頁数)、発表雑誌又は発表学会 (号・巻・pp・年月)、展覧会 (場所・期間) などの名称

さらに、特別講演・シンポジウム (招待講演)・一般講演など (地方支部会・全国大会・国際会議) の別

註: 学会・展覧会など、専門分野以外の人に分りにくい場合は、できるだけその社会的位置づけ、歴史、規模などの簡潔な説明を付してください

#### ・ジャーナル論文

[1] 渥美幸雄, 高橋修, 西正博, 吉田彰顕, “次世代インターネットのためのアクティブネットのルート設定方法と ANTS の拡張方法”, 情報処理学会論文誌第 42 巻, 第 12 号, pp. 2897-2908, 2001. 10

[2] 石川憲洋, 上野英俊, 鈴木偉元, 角野宏光, 高橋修, “WAPプロトコルとインターネットプロトコルの性能評価に基づくIMT-2000 向けモバイルインターネットアーキテクチャの提案”, 情報処理学会論文誌第 43 巻, 第 10 号, pp. 3097-3106, 2002. 10

[3] 高橋修, 上野英俊, 鈴木偉元, 石川憲洋, 水野忠則, “移動機向けプッシュプロトコルの提案と評価”, 情報処理学会論文誌第 43 巻, 第 10 号, pp. 3107-3118, 2002. 10

[3] 稲村浩, 石川太郎, 高橋修, 渥美幸雄, “W-CDMA 網でのリンク層 ARQ と TCP の特性評価”, 情報処理学会論文誌第 43 巻, 第 12 号, pp. 3859-3868, 2002. 12

[4] 高橋修, 高橋竜男, 三浦史光, 西郷悟, 水野忠則, “移動網を介したモバイル VPN 方式の提案と評価”, 情報処理学会論文誌第 43 巻, 第 12 号, pp. 3898-3910, 2002. 12

[5] 高橋修, 関口克己, 鶴巻宏治, 稲村浩, 渥美幸雄, 水野忠則, “第 3 世代移動通信網を介した高速インターネットアクセスのためのステルス型ゲートウェイの提案と実装評価”, 情報処理学会論文誌第 44 巻, 第 3 号, pp. 637-646, 2003. 03

[6] 尾上裕子, 萩野浩明, 渥美幸雄, 高橋修, 駒木寛隆, 串田高幸, 山内長承, “マルチメディアストリーミング配信サーバにおけるネットワーク情報活用型レート制御方式”, 情報処理学会論文誌第 44 巻, 第 3 号, pp. 625-636, 2003. 03

[7] 高橋竜男, 高橋修, 水野忠則, “モバイル向けシンクライアントシステムの検討”, 情報処理学会論文誌第 45 巻, 第 5 号, pp. 1417-1431, 2004. 05

[8] 石川憲洋, 藤原博典, 上野英俊, 鈴木偉元, 高橋修, “Domain Constrained Multicast: A New Approach for IP Multicast routing”, Telecommunication Systems, 27 (2-4), October-December, Kluwer Academic Publishers, pp. 207-227, 2004. 10

[9] H.Ueno, N.Ishikawa, H.Suzuki, H.Sumino, O. Takahashi, "Performance Wvaluation of WAP and Internet Protocols over W-CDMA Networks, Cluster Computing 8, pp.27-34, 2004.10

[10] 鈴木偉元, 上野英俊, 石川憲洋, 高橋修, 佐藤文明, 水野忠則, "無線網における高信頼マルチキャストのハイブリッド誤り回復方式の性能解析", 情報処理学会論文誌, 第45巻, 第11号, pp. 2497-2508, 2004.11

[11] 西正博, 吉田彰顕, 渥美幸雄, 高橋修, "通信・放送癒合方モバイル環境を指向したUHF帯電波伝搬エリアの検討", 情報処理学会論文誌, 第45巻, 第12号, pp.2619-2629, 2004.12

[12] 西正博, 岡村義巳, 吉田彰顕, 渥美幸雄, 高橋修, "通信・放送融合型の動的情報配信アルゴリズムの提案", 情報処理学会論文誌, 第45巻, 第12号, pp.2608-2618, 2004.12

[13] M.Miyake, H.Inamura, O. Takahashi, "Spurious Timeout Detection Algorithm for mobile Communication with Delay Jitter", ISPJ Journal, Vol.46, No.1, pp.211-221, 2005.01

[14] H.Ueno, H.Suzuki, N.Ishikawa, O. Takahashi, "A receiver Authentication and Group Key Delivery Protocol for Secure Multicast", IEICE Tran.Communications, Vol.E88-B, No.3, pp.1139-1148, 2005.03

[15] 山口典男, 置田誠, 重松隆之, 高橋修, 宮本衛市, "バトラー型パーソナルサービスアーキテクチャの提案とそのユビキタス型ヘルスケアサービスへの適用の検討", 銃砲処理学会論文誌, 第47巻, 第3号, pp.722-730, 2006.03

[16] 置田誠, 山口典男, 重松隆之, 高橋修, 宮本衛市, "携帯電話機用WEBブラウザのサーバ・レンダリング方式の提案と実装評価", 情報処理学会論文誌第47巻第7号, pp.2107-2116, 2006.7

・国際会議

[1] Y.Onoe, Y. Atsumi, O. Takahashi, F.Sato, T. Mizuno, "An Efficient IP Mobility Control Scheme for Next-generation Mobile Communication Networks", Proc. on The 7th International Workshop on Mobile Multimedia Communication (MoMuC) 2000, pp.2B/3/1-6, 2000.10

[2] N. Ishikawa, H. Fujiwara, H. Ueno, H. Suzuki, O. Takahashi, "Considerations on the Mobile Internet Architecture for High-Speed Wireless Networks", Internet Societ (ISOC), INET 2001, 2001.06

[3] H. Ueno, N. Ishikawa, H. Suzuki, H. Sumino, O. Takahashi, "Performance evaluation on WAP and Internet Protocol over 3G wireless networks", IFIP Conference of Technical Committee on Communication Systems (TC6), Networking 2002, Lecture Note in Computer Science 2345, 2002.05

[4] N. Ishikawa, H. Fujiwara, H. Ueno, H. Suzuki, O. Takahashi, "Domain Constrained Multicast : New Approach for IP Multicast Routing", Internetworking 2003 International Conference, 2003.06

- [5]M. Miyake, H. Inamura, O. Takahashi, “TCP Enhancement using Spurious Timeout Detection and Congestion Window Control Algorithm”, Proc. on 8<sup>th</sup> International workshop on Multimedia Communications MoMuC2003, pp.3C/4/7-12, 2003.10
- [6]E. Omata, N. Ishikawa, H. Sumino, O. Takahashi, J. Hjelm, Z. Zhu, “Matching and Rating Mechanisms based on Fuzzy Logic for Mobile Multimedia Content”, IPSJ, Proc. on 1st International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking(ICMU 2004), pp. 172-177, 2004.01
- [7]H> Sumino, N. Ishikawa, O. Takahashi, “Design and Implementation of a Multicast Instant Message System on Mobile P2P Network”, IPSJ, Proc. on 1st International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking(ICMU 2004), pp.160-165
- [8]H. Ishikawa, H. Fujiwara, H. Ueno, H. Suzuki, O. Takahashi, “Domain Constrain Multicast and Its Application to IPv6”, Proc. On IEEE 3<sup>rd</sup> International Conference on Networking (ICN04), Proc. On IEEE 3<sup>rd</sup> International Conference on Networking (ICN04), 2005.03
- [9]H. Inamura, O. Takahashi, H. Nakano, T. Ishikawa, H. Shigeno, “TCP Performance Considerations for Layer Two ARQ in W-CDMA network”, IEEE, Proc. on the 24<sup>th</sup> International Conference on Distributed Computing Systems (ICDCS2004), 2004.03
- [10]H. Inamura, O. Takahashi, T. Ishikawa, H. Shigeno, K. Okada, “Automating Detection of Faults in TCP Implementation”, IEEE, Proc. on the 18th International Conference on Advanced Information Networking and Applications (AINA 2004), pp.254-259, 2004.03
- [11]Shin Yokoyama, Yoshikazu Nakane, Osamu Takahashi, Eiichi Miyamoto,” Evaluation of the Impact of Selfish Nodes in Ad Hoc Networks and Detection and Countermeasure Methods” , Proc. on MDM2006 workshop FMUIT, pp49-54, 2006.05
- [12]Makoto Okita, Hideyuki Tsugane, Norio Yamaguchi, Takayuki Shigematsu, Osamu Takahashi, Eiichi MIiyamoto, “Server-Side Web Browser width Use of Videophone”, Proc. on Third International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Communication(ICMU) 2006, pp43-50, 2006.10
- [13]Kyosuke Osaka, Tsuyoshi Takagi, Kenichi Yamazaki, Osamu Takahashi, “An Efficient and Secure RFID Security Method with Ownership Transfer” , Proc. of the 2006 International Conference on Computational Intelligence and Security, pp. 1090-1095, Nov. 2006

・ 口頭発表

- [1] 尾上裕子、渥美幸雄、高橋修、佐藤文明、水野忠則, Mobile IP 網における効率的 IP ベース・ハンドオーバー方式, 情報処理学会シンポジウム DICOMO'00, 2000.7
- [2] 鈴木偉元、上野英俊、高橋修、他, 無線マルチメディアを用いた WAP プロトコルの性能評価、情報処理学会シンポジウム DICOMO'00, 2000.7
- [3] 鈴木偉元、上野英俊、高橋修、他, WAP 通信プロトコルの実装と評価, 情報処理学会シンポジウム

DICOMO' 00, 2000. 7

[4] 上野英俊、鈴木偉元、高橋修、他、WAP プロトコルの実装とプッシュ型アプリケーション、情報処理学会シンポジウム DICOMO' 00, 2000. 7

[5] 関口克己、鶴巻宏治、北口雅哉、高橋修、モバイルインターネットアクセスにおけるリクエストパイプラインの有効性、情報処理学会第 15 回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会, 2000. 11

[6] 石川太郎、稲村浩、高橋修、W-CDMA 向け TCP プロファイル、情報処理学会第 15 回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会, 2000. 11

[7] 西郷悟、高橋竜男、三浦史光、高橋修、TCP アクセルレータにおける TCP ハイジャック防止対策, 2001 年信学総合大会, 分冊通信 2, No. B-7-196, p. 329, 2001. 3

[8] 鈴木偉元、藤原廣則、上野英俊、石川憲洋、高橋修、モバイル端末向けマルチキャスト配信技術の検討、情報処理学会第 17 回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会, 2001. 5

[9] 串田高幸、富田アルベルト、高橋修、他、モバイルマルチメディア QoS の構成方式、情報処理学会シンポジウム DICOMO' 01, 2001. 7

[10] 安木成比古、渥美幸雄、高橋修、他、モバイルストリーミングのための QoS 制御フレームワーク、情報処理学会シンポジウム DICOMO' 01, 2001. 7

[11] 石川憲洋、藤原廣則、高橋修、他、ドメイン限定マルチキャストの提案、情報処理学会シンポジウム DICOMO' 01, 2001. 7

[12] 上野英俊、石川憲洋、高橋修、他、移動通信におけるプッシュプロトコルの提案と評価、情報処理学会シンポジウム DICOMO' 01, 2001. 7

[13] 高橋修、IMT-2000 サービスとモバイルインターネットの研究開発の展望、信学会北陸支部講演会, 2001. 8

[14] 稲村浩、石川太郎、高橋修、W-CDMA 網での TCP トラヒック特性、情処学会 MBL 研究会 (18-5), 2001. 9

[15] 村尾高秋、谷口雅昭、串田高幸、萩野浩明、尾上裕子、高橋修、ワイヤレス区間を想定したビデオストリーミングシステム、情報処理学会第 104 回マルチメディアと分散処理 (DPS) 研究会 (104-11), 2001. 9

[16] 西郷悟、三浦史光、高橋修、SSL におけるモバイル向け鍵管理システム、情処学会 CSEC 研究会, 2002. 2

[17] 鈴木偉元、藤原廣則、石川憲洋、上野英俊、高橋修、モバイル・マルチキャスト通信のための FEC/ARQ ハイブリット制御方式の検討、情報処理学会第 20 回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会, 2002. 3

[18] 上野英俊、鈴木偉元、石川憲洋、加藤剛志、角野宏光、高橋修、XML コンテンツの差分生成法とプッシュ型配信への応用、情報処理学会第 20 回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会, 2002. 3

[19] 三浦史光、高橋修、ブラウザフォンにおける多国語ドメイン利用に関する 1 考察、情報処理学

会第 21 回バイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会 (21-16), 2002. 5

[20] 上野英俊, 石川憲洋, 鈴木偉元, 高橋修, モバイル端末を対象としたプッシュサービス向けスクリプト言語の提案, 情報処理学会シンポジウム DICOM0' 02, 2002. 7

[21] 横田和久, 稲村浩, 高橋修, ワイヤレスネットワーク環境におけるメール受信の効率改善, 情報処理学会シンポジウム DICOM0' 02, 2002. 7

[22] 西郷悟, 三浦史光, 高橋修, 柔軟な多対一決済に関する研究, 情報処理学会第 19 回コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC), 2002. 12

[23] 三宅基治, 稲村浩, 高橋修, スプリアス・タイムアウト検出と輻輳ウィンドウ制御アルゴリズムに関する研究, 情報処理学会第 24 回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会, 2003. 3

[24] 石川太郎, 藤波勉, 稲村浩, 高橋修, TCP 実装試験手法の検討, 情報処理学会第 24 回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信 (MBL) 研究会, 2003. 3

[25] 西郷悟, 三浦史光, 高橋修, モバイル環境における多対一決済に関する考察, 情報処理学会シンポジウム DICOM02003, 2003. 6

[26] 上野英俊, 石川憲洋, 高橋修, 他, マルチキャストセキュリティアーキテクチャの提案と実装, 情報処理学会シンポジウム DICOM02003, 2003. 6

[27] 田中希代子, 上野英俊, 高橋修, 他, コンテキスト情報を用いたマルチキャスト配信アーキテクチャの提案, 情報処理学会シンポジウム DICOM02003, 2003. 6

[28] 高橋竜男, 高橋修, モバイル向けシンクライアントシステムにおけるグラフィック制御機能の検討, 情報処理学会シンポジウム DICOM02003, 2003. 6

[29] 三宅基治, 稲村浩, 高橋修, 移動体通信に有効なスプリアス・タイムアウト検出アルゴリズムに関する研究, 情報処理学会シンポジウム DICOM02003, 2003. 6

[30] 鈴木偉元, 原下貴志, 高橋修, 他, 無線 LAN での誤り回復方法の評価, 情報処理学会シンポジウム DICOM02003, 2003. 6

[31] 殿内雅晴, 峰野博史, 石原進, 高橋修, 水野忠則, モバイル通信を指向した動的マルチリンク TCP の設計, 情報処理学会シンポジウム DICOM02003, 2003. 6

[32] 上野英俊, 田中希代子, 鈴木偉元, 石川憲洋, 高橋修, マルチキャスト通信のためのトランスポート層データ暗号化プロトコルの提案と実装, 電子情報通信学会ネットワークシステム研究会, 2003 年 6 月

[33] 上野英俊, 田中希代子, 鈴木偉元, 石川憲洋, 高橋修, マルチキャスト通信のためのアクセス制御 & グループ鍵配信プロトコル, 第 2 回情報科学技術フォーラム (FIT2003), 2003 年 9 月 (査読つき)

[34] 上野英俊, 田中希代子, 鈴木偉元, 石川憲洋, 高橋修, マルチキャストにおける DoS アタック対策に関する考察, 第 2 回情報科学技術フォーラム (FIT2003), 2003 年 9 月

[35] 江口悠利, 三浦史光, 高橋修, ネットワーク接続に適した鍵更新方法とデータ通信方法に関する研究, 2003 年電子情報通信学会ソサエティ大会, 2003 年 9 月

[36] 田中希代子, 鈴木偉元, 上野英俊, 石川憲用, 高橋修, ユーザ適応型マルチキャスト配信グルー

プ構成方法の一考察, 2003年電子情報通信学会ソサエティ大会, 2003年9月

[37] 三宅基治, 稲村浩, 高橋修, モバイル通信のための遅延ジッタ耐性をもつ TCP 機能拡張とその実装に関する検討, 静岡大学情報学ワークショップ, 2003年9月

[38] 加藤剛志, 角野宏光, 石川憲洋, 高橋修, 差分 XSLT スタイルシート生成法の提案と実装, 電子情報通信学会第15回データ工学ワークショップ, 2004,3.4-6

[39] 伊藤陽介, 石原進, 峰野博史, 高橋修, 水野忠則, 通信回線共有方式における公平性に関する検討, 情処学会 MBL 研究会, 2004年3月

[40] TCP を拡張した複数経路通信における再送制御に関する検討, 情処学会 MBL 研究会, 2004.3

[41] 江口悠利, 三浦史光, 高橋修, ネットワーク接続における公開鍵証明書の検証に関する一考察, 信学会情報セキュリティ研究会, 2004.3.15-16

[42] 高橋修, モバイルマルチメディアサービスと QoS, 信学会第1回 QoS ワークショップ, 2004.02

[43] 山崎修司, 宮西洋太郎, 高橋修, 階層型セキュアデータベースの提案とプロトタイプシステムの実装, FIT2004, 2004.09

[44] 鈴木偉元, 安木成比古, 角野宏光, 江頭徹, 高橋修, 佐藤文明, グリッドを用いたモバイル環境での分散データ処理の検討, 静岡大学情報学ワークショップ, pp.258-264, 2004.9

[45] 横山信, 中根由和, 下斗米弘成, 高橋修, 宮本衛市, アドホックネットワークにおけるプロトコル非準拠ノードの振舞いとその評価, 情報処理学会全国大会, 平成17年3月

[46] 山崎修司, 高橋修, 宮西洋太郎, 小西修, 宮本衛市, 階層的一方向性データのセキュアな管理方式とその評価, 情報処理学会全国大会, pp.3-299-300, 平成17年3月

[47] 置田誠, 山口典男, 重松隆之, 高橋修, 宮本衛市, 携帯電話機用サーバ・クライアント型ブラウザの開発, 情報処理学会全国大会, 平成17年3月

[48] 伊藤雅博, 高橋修, 宮本衛市, ユビキタス環境におけるユーザニーズの考察, 情報処理学会全国大会, 平成17年3月

[49] 宮西洋太郎, 高橋修, “道路上の移動ノードを利用する災害時通信方式の提案, 情報処理学会マルチメディアと分散処理研究会, 平成17年6月

[50] 横山信, 中根由和, 高橋修, 宮本衛市, “アドホックネットワークにおけるプロトコル非準拠ノードの検出方法及び対策”, 情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOM02005)シンポジウム論文集, pp.233-236, 平成17年7月

[51] 伊藤雅博, 高橋修, 宮本衛市, “ユビキタス社会におけるユーザニーズとコミュニケーションプロセスの考察”, 情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOM02005)シンポジウム論文集, pp.401-404, 平成17年7月

[52] 置田誠, 山口典男, 重松隆之, 高橋修, 宮本衛市, “携帯電話用WEBブラウザのサーバ・レンダリング方式の提案と実装評価”, 情報処理学会マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOM02005)シンポジウム論文集, pp.733-736, 平成17年7月

[53] 山口典男, 置田誠, 重松隆之, 浜崎伸夫, 高橋修, 宮本衛市, “ユビキタス型ヘルスケアの個人情報処理に対する通信網異常処理手法の適用に関する考察”, 情報処理学会マルチメディア, 分散,

協調とモバイル(DICOM02005)シンポジウム論文集, pp. 781-784, 平成 17 年 7 月

[54] 横山信, 中根由和, 高橋修, 宮本衛市, ”アドホックネットワークにおけるSelfish Node対策の評価”, 情報処理学会MBL研究会, 平成 17 年 11 月

[55] 関口克己, 外村彩, 山本和徳, 鈴木偉元, 石川憲洋, 高橋修, ”3Gモバイルパケットネットワークにおけるスプリアタイムアウト検出アルゴリズムの適用と評価”, 情報処理学会MBL研究会, 平成 18 年 2 月

[56] 置田誠, 山口典男, 重松隆之, 高橋修, 宮本衛市, ”HTMLメールを利用したSMTP通信によるサーバ変換型WEBブラウザ方式の提案と実装評価”, 情報処理学会MBL研究会, 平成 18 年 2 月

[57] 山口典男, 置田誠, 重松隆之, 高橋修, 宮本衛市, ”バトラー型パーソナルサービスアーキテクチャを用いたユビキタス型ヘルスケアサービスの検討”, 情報処理学会MBL研究会, 平成 18 年 2 月

[59] 篠原義隆, 安藤瑞穂, 高橋修, ”センサーネットワークを用いた生活支援システムの提案”, 情報処理学会全国大会, 平成 18 年 3 月

[60] 岡田伊織, 横山信, 高橋修, ”アドホックネットワークにおけるブラックホール攻撃と対策”, 情報処理学会全国大会, 平成 18 年 3 月

[61] 石山慎, 佐々木準人, 渡辺雅人, 新美礼彦, 高木剛, 小西修, 宮本衛市, 高橋修, ”GPS携帯電話を用いたマルチベンダ対応チャットとスケジューラの実装”, 人工知能学会全国大会, 2006. 06

[62] 横山信, 中根由和, 高橋修, 宮本衛市, ”ブラックリスト方式を使用したアドホックネットワークにおけるブラックホール攻撃対策の評価”, 情処学会DICOM02006 シンポジウム, 2006. 07

[63] 伊藤雅博, 高橋修, 宮本衛市, ”ユビキタス環境の実現を牽引するFMCサービスとユーザニーズの考察”, 情処学会DICOM02006 シンポジウム, 2006. 07

[64] 置田誠, 津金英行, 山口典男, 重松隆之, 高橋修, 宮本衛市, ”携帯電話機のテレビ電話を利用した動画配信によるサーバ変換型WEBブラウザの提案と実装評価”, 情処学会DICOM02006 シンポジウム, 2006. 07

[65] 松本謙尚, 花岡誠之, 矢野正, 高橋修, ”コグニティブ無線のための無線下りパケットスケジューリング方式の提案”, 電子情報通信学会NS研究会, 2006 年 10 月

[66] 逢坂恭介, 高木剛, 山崎憲一, 高橋修, ”所有権移転を可能にした効率で安全なRFIDセキュリティ方式の提案”, 情報処理学会コンピュータセキュリティシンポジウム 2006, pp. 49-54, 2006. 10

[67] 森郁海, 横山信, 高木剛, 山崎憲一, 高橋修, ”アドホックネットワークにおけるブラックホール攻撃に対する防御法の提案と実装・評価”, 情報処理学会研究報告Vol. 2006, No. 120, pp. 47-52, 2006. 11

[68] 森拓海, 横山信, 高木剛, 山崎憲一, 高橋修, ”AODVにおけるGhost Attackとその防御法”, 情報処理学会研究報告Vol. 2006, No. 120, pp. 53-58, 2006. 11

[69] 篠原義隆, 石山慎, 高橋修, ”RFIDタグを用いた行き先推定システムの提案” 情報処理学会研究報告Vol. 2006, No. 120, pp. 75-80, 2006. 11

[70] 関口克己, 山本幸枝, 高橋修, ”帯域幅変動を伴うモバイルパケットアクセスにおけるトランスポートプロトコルの伝送特性改善に関する検討”, 情報処理学会MBL研究会, 2, 2007

[71]澤田友里子, 高橋修, “geo-routingを利用した情報検索システムの提案”, 第 69 回情報処理学会全国大会, 3V-3, 3, 2007

[72]石山慎, 高橋修, “複数センサネットワークを統合するユビキタスネットワーク基盤の構築”, 第 69 回情報処理学会全国大会, 4V-2, 3, 2007

[73]渡辺雅人, 高橋修, “P2Pマルチキャストにおけるノード制御手法の提案”, 第 69 回情報処理学会全国大会, 1W-9, 3, 2007

[74]四ツ柳健太, 高橋修, “IDベース暗号の電子カルテへの応用”, 第 69 回情報処理学会全国大会, 6W-2, 3, 2007

・著書/解説

[1] 石川憲洋, 高橋修, モバイルインターネットプロトコル, 情報処理学会誌, Vol. 42, No. 12, pp. 1204-1209, 2001. 12

[2] 石川憲洋, 高橋修, モバイルインターネットの発展, 電子情報通信学会誌, Vol. 86, No. 3, pp. 169-173, 2002. 10

[3] 高橋修 (共著), 標準MPEG教科書, ASCII, 2003. 2

[4] 高橋修 (共著), IPv6時代のインターネットプロトコル詳解, 毎日コミュニケーションズ, 2003. 9

[5] 高橋修 (共著), モバイルマルチメディア, 丸善, 2004. 3

[6] 高橋修, 高橋竜男” 携帯電話をシンクライアント端末に！ その実現方式・技術のポイントと展望”, NETWORK N+I ネットワークガイド (ソフトバンク社), 2005.09

[7] 高橋修, “情報共有空間のためのモバイルアドホックネットワーク”, 情報処理学会誌, Vol.48, No.2, pp154-159, 2, 2007

2) 学会活動 (役員・会員)、学会の組織運営、学会誌の編集委員など (平成 12-18 年度に限る)

例:

#学会などの名称

&編集委員長又は委員などの別

\$ 任務期間 (年月)

註: 専門分野によっては適宜変更 (例えば、学会を展覧会などと記す)・追加説明を付してください できれば展覧会・学会などについても社会的位置付け、歴史、規模などの簡潔な説明を添えてください

[1]1998年4月～2001年12月, 電子情報通信学会英文論文誌 D 編集委員

[2]2000年4月～2001年3月, 情報処理学会, モバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会幹事

[3]2002年11月, 10<sup>th</sup> IEEE International Conference on Network Protocols (ICNP 2002), Tutorial Chair

[4]2002.12, 情報処理学会論文誌特集号「次世代移動通信ネットワークとその応用」ワイヤレス通信」 Vol.43, No.12, ゲストエディタ

- [5]2003年1月, 情報処理学会連続セミナー, モバイルネットワーク技術コーディネータ
- [6]2002年4月~2005年3月, 情報処理学会代表会員
- [7]2003年6月, 情報処理学会, マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2003) シンポジウム, プログラム委員長
- [8]2004年1月, International Conference on Distributed Computing Systems (ICDCS 2004), プログラム委員
- [9]2004年1月, International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2004), General Chair
- [10] 情報処理学会論文誌特集号 (ICMU2004) 編集委員
- [11]2001年4月~2005年3月, 情報処理学会モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会主査
- [12]2001年~電子情報通信学会ソサエティ論文誌編集委員会査読委員
- [13]2003年, 情報処理学会論文誌特集号「次世代移動体通信システム」編集委員
- [14]2003年, 情報処理学会論文誌特集号「ICMU2003」編集委員
- [16] 2004年, 情報処理学会, マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2004) シンポジウム, 運営委員
- [17] 2004年, 情報処理学会論文誌特集号 (ITS とモバイル) 編集委員
- [18] 2005年, 情報処理学会, マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2004) シンポジウム, 運営委員
- [19]2005年5月, International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2004), Steering Committee
- [20]2005年, 情報処理学会論文誌特集号 (ITS とモバイル) 編集委員
- [21]2006年, 情報処理学会論文誌特集号 (ITS とモバイル) 編集委員
- [22]2006年, International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2005), Steering Committee
- [23] 2006年, 情報処理学会, マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2004) シンポジウム, 運営委員
- [24] 2007年2月~, International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2008), Chair of Steering Committee

3) 研究費獲得状況 (未来大学外からの財源) (科学研究費、財団助成金、委任経理金など  
(平成 12-18 年度に限る))

例:

#平成 12-(13)年度

&財源、たとえば科学研究費補助金

\$ 研究課題名

%代表者、分担者の別、研究課題参加者数、あるいは〇〇研究所との共同研究（相手機関の協同研究者数など）  
¥研究経費（例：平成 12 年度; 800 千円、平成 13 年度; 500 千円）

- 平成 16 年度：
  - 受託研究（代表者），800 千円
  - 奨学寄付，1500 千円
- 平成 17 年度：
  - 受託研究（代表者），700 千円
  - 奨学寄付，1000 千円
- 平成 18 年度：
  - 受託研究 2 件（いずれも代表者），1200 千円
  - 共同研究 1 件（代表者），3000 千円
  - 科研費(B)（代表者），2700 千円
  - 奨学寄付 2 件，3000 千円

4) その他（特許、内地研究（学内共同研究は除外）および在外研究歴と成果など特記すべきこと。本項目は平成 12-17 年度に限定しない。）

- 特許多数有り。

## 2 教育業績

1) 教育負担の実態（複数教員で担当する科目の場合は、貴方の分担分のみ）本項目は時間割に含まれた教科（補講・補習など教室で行なったものは含む）を調査の対象としております。従って、〇〇研究会、〇〇同好会など、各教員室他で行なったものは、対象外とします。試験やレポートなどの採点時間も除外します。

例：

# 科目名（講義・演習・実習・補講の別）、単位数・必修/選択の別、担当教員数（単独の場合は不要）

&実施期間（平成 12 年度前期、あるいは平成 13 年 10-11 月）、実施コマ数（休講しても補講で補えば算定する）、補講をしなかった休講回数（例：実施 13 コマ、休講 2 コマ）

\$ 実働時間数（全て、実時間合計(推定)値でお願いします）、演習などは一コマ 1.5 時間を超えていると思われるので、そのような場合は、たとえば一コマ 2.2 時間などと算定してください（例：実働 22.5 時間）

%受講登録学生数（例：45名）、平均的出席者数（例：38名；初めは40名、終りは25名など）、単位認定（合格）者数

註：本項目はできるだけ正確にお願いしたいですが、概数でも結構です 記述がない場合は0と判断します

- コンピュータアーキテクチャ，2単位，選択科目  
平成16年度前期，15コマ×2，75時間，受講登録学生数200名，平均的出席者数：120名，  
単位認定：150名  
平成18年度前期，14コマ×2，75時間，受講登録学生数200名，平均的出席者数：120名，  
単位認定：150名
- デジタル論理回路，2単位，選択科目  
平成16年度後期，15コマ，70時間，受講登録学生数：60名，平均的出席者数：50名，  
単位認定：40名
- 情報アーキテクチャ演習II，2単位，必修科目  
平成16年度後期，15コマ，55時間，受講登録者数：43名，平均的出席者数：43名，  
単位認定：43名  
平成17年度後期，15コマ，55時間，受講登録者数：43名，平均的出席者数：43名，  
単位認定：43名
- システム情報科学実習II，4単位，必修科目  
平成16年度前期/後期，26コマ，40時間，受講登録者数：12名，平均的出席者数：12名，  
単位認定：12名  
平成17年度前期/後期，26コマ，40時間，受講登録者数：20名，平均的出席者数：20名，  
単位認定：20名  
平成18年度前期/後期，26コマ，40時間，受講登録者数：12名，平均的出席者数：12名，  
単位認定：12名
- ネットワークセキュリティ，2単位，選択科目  
平成17年度前期，15コマ×2，75時間，受講登録学生数200名，平均的出席者数：120名  
単位認定：150名  
平成18年度前期，14コマ×2，75時間，受講登録学生数200名，平均的出席者数：100名  
単位認定：100名
- 情報システム設計特論（大学院），2単位，選択科目  
平成17年度後期，14コマ，80時間，受講登録学生数15名，平均的出席者数：10名  
単位認定：10名  
平成18年度後期，14コマ，80時間，受講登録学生数15名，平均的出席者数：10名  
単位認定：10名
-

2) 成績評価方法（その方法を具体的に記載・学生（社会）が納得するような具体的説明。）  
また、複数の教員で担当する科目の場合は、取りまとめの方法についても記述してください。

・出席状況，レポート課題，試験結果などから総合的に評価する。

3) 講義方法など改善への努力（FD 関連の講演会などの聴講回数、教育内容とそれらの効果について貴方が行われた事柄・目標を具体的に記述して下さい）。

・授業は電子資料を用意し，予習出来るように次善に配布するようにした。

4) その他（上記以外に特記すべきことがありましたら、簡潔かつ具体的に、箇条書きなどで記述してください。特に、貴方が作られたシラバスと現在教務委員会で検討されている（コース別）講義内容・目標、あるいは JABEE などとの関連、並びに貴方が担当されている科目の位置付けなどについてご意見があれば記して下さい。また、本学は教員の専門分野が多岐にわたっているため、相互理解を目的としたコース特有の問題点や、皆さんの教育に対する抱負などを記述して戴いても結構です。）

### 3 大学の管理運営

各種委員会（委員長・委員、クラス担任、学習指導・生活指導、クラブ活動の顧問等の実績（具体的に記述してください、できれば実働延べ時間数など）、その他。

平成 16 年度

- ・システム委員会委員長
- ・就職委員会委員

平成 17 年度

- ・情報アーキテクチャ学科長
- ・就職委員会委員，等

平成 18 年度

- ・ 情報アーキテクチャ学科長
- ・ 広報委員会委員長，就職委員会委員，等

#### 4 その他

資格（技術士など）、地域への貢献（地域自治体審議会、委員会等の役員、委員。地域との共同研究・技術相談。公開講座・出前授業・市民向け講演）あるいは提言・御意見など

- ・ 函館市産業支援センター入居資格審査委員会委員：平成 16 年度～
- ・ 函館市チャレンジ計画認定審査委員会委員：平成 16 年度～
- ・ 北海道大学情報基盤センター全国共同利用委員会委員：平成 16 年度
- ・ 科学技術動向研究センター科学技術専門調査員：平成 14 年度～
- ・ 函館大学非常勤講師，情報通信ネットワーク論：平成 16 年度
- ・ 函館東高校，模擬授業：平成 16 年度，平成 18 年度